

標 題： Urinary Excretion of Olive Oil phenols and Their Metabolites in Humans
ヒトにおけるオリーブ油フェノールおよびその代謝物の尿排泄

著 者： D. Caruso, et al. (イタリア ミラノ大学 薬学部)

掲 載 誌： Metabolism 50(12): 1426-1428 (2001)

要 旨： 我々は最近、パージンオリーブ油の主な抗酸化物の1つであるヒドロキシチロソール(3,4-ジヒドロキシフェニルエタノール)の生体利用効率をヒトで実証した。特に、この化合物はアテローム性動脈硬化の過程に関連するリポタンパク中に存在し、主にグルクロニド抱合体として尿に排泄されると、我々は報告した。

本研究の目的は、ヒトでパージンオリーブ油摂取後に、ヒドロキシチロソールの代謝運命を解明することであった。

パージンオリーブ油の投与後に、ヒドロキシチロソールおよびその代謝物のホモバニリックアルコールとホモバニリン酸を確認して定量するために、健康なボランティアの24時間尿を集めてガスクロマトグラフィー-マススペクトル向けの用意をした。

この化合物はカテコールアミンの分解に関与する酵素カテコール-O-メチルトランスフェラーゼの作用を受けて、ホモバニリックアルコール排泄増加をもたらすと、結果が示している。

我々はまたホモバニリン酸の有意な増加を見出し、ヒトにおけるヒドロキシチロソールおよび/またはホモバニリックアルコールのエタノール残基の酸化が示される。

両方の代謝物の排泄は、投与したヒドロキシチロソールの量と有意に関連した。
